

# 命の大切さ学習教室に参加して

大崎礼子さん(涼香ちゃんのお母さん)に宛てた手紙です。

平成12年11月28日、当時小学1年生の涼香ちゃんは、登校中の児童の列に飲酒運転の軽トラックが突っ込む事故により、亡くなりました。



私は、今回の講習会で、涼香ちゃんについてのお話を聞いてみて、まわりを破ることは、人を傷つけること、誰かの大切な人をうばうことにつながっていると分かりました。涼香ちゃんは、当時まだ小学1年生で、まっとうやっていたことも沢山あったのに、飲酒運転という、大人としてはいけないミスによって亡くなってしまったというのが、とても悲しくなりました。そして、涼香ちゃんのご家族の全員が、あの時ああしていれば...という後悔をなさいているのが、いつ起きるか分からない交通事故のおそろしさが伝わってつらかったです。私が生まれるずっと前のお話ですが、悲しみは消えないし、人の命をうばう事故は減らないというのは、礼子さんちのようなつらい思いをする人を生み出していくことになってしまうと思いました。私の家族は皆車を運転します。そして、それによって命をうばわれてほしくないし、命をうばって誰かに悲しい思いをさせたくもありません。希望のある命をうばわないため、自転車に乗る時など、緊張感をもって運転したいと思います。

学校名

成章中学校

氏名 ※氏名を出さない方は記入しないでください。

田村 泉恵

より

# 命の大切さ学習教室に参加して

大崎礼子さん(涼香ちゃんのお母さん)に宛てた手紙です。

平成12年11月28日、当時小学1年生の涼香ちゃんは、登校中の児童の列に  
飲酒運転の軽トラックが突っ込む事故により、亡くなりました。



ほくは、お話を聞いて被害者遺族の悲しみとか加害者にならないことの大切さを学びました。ほく達より、年下の人が交通事故で亡くなったという事が家族しなくても悲しいのに、それが家族になると想像も絶するおな、悲しみなんだ、と思いました。文で見たこの話よりも、実際に話を聞いて当時の様子や涼香ちゃんも、どんな人だったのかという事がよりぐれく分かり、悲しげ、という気持ちが伝わってきました。

ほくには、12才年の弟がいます。大崎さんが言っていた長男や次男の人のように、自分の目の前で弟がなくなる、というのは、どんな事なのか教ると、想像することは普段はしないけど、今日の話を聞いてそれはどんな事、どれほどつらい事なのかを考える機会になりました。

「いつものように家を出て登校していた。たけなのに、事故に合い、日常が変わってしつ」という話が心に響きました。たまたまの交通事故で遺族の方達の生活は変わり、悲しみ、悔しさを、これから一生背負っていくと分かりました。

ほくが将来大人になってお酒を飲むおな時かあ、今日の話を思い出して、飲酒運転だけでなく、よそ見や居眠りのような危険な事は絶対にしないようにします。他にも、普段の生活を今よりも大切に、もし急に誰かが亡くなるおな事かあ、後悔が残らないようにしたいです。

—先日は本当にありがとうございました。

学校名

大館市立成章中学校

氏名 ※氏名を出さない方は記入しないでください。

小野寺陽生

より

# 命の大切さ学習教室に参加して

大崎礼子さん(涼香ちゃんのお母さん)に宛てた手紙です。

平成12年11月28日、当時小学1年生の涼香ちゃんは、登校中の児童の列に飲酒運転の軽トラックが突っ込む事故により、亡くなりました。



私は、家族や友達がとっぜん亡くなるとどうしようと、少しだけ考えたことがあります。でもいつも、「まあ、大丈夫」と思っていました。今回お話を聞いて、今一緒に過ごしていることは当たり前ではなくて、すぐ壊されてしまうと知りました。命をうばうということは、その人をこの世から消すだけでなく、可能性、未来、思いまでうばってしまうと聞き、「命」という言葉がとても重く感じられました。今の時代は「死ね」などの言葉が、小さくて、軽い気持ちで使われています。私も友達によく小さくて使ってしまう。それがすごくおそろしい事だ、たんだなと思いました。使わないようにすると決めました。加害者の罪は懲役4年と聞き、私まで悔しい気持ちになりました。涼香ちゃんの何十年もの未来をうばったのだ、4年だけでいいのか、その人は礼子さんたちの気持ちを考えたのか、という疑問がうかびました。こんなおかしい事が起こらないためにも、被害者と加害者はつくっては絶対にいけないと思います。ニュースでは、起こったことの実情が多く報道されます。気持ちのことをこんなに知ることはなかったもので、たくさんのことを考えることができました。本当に、お話ししてくたさし、ありがとうございました。

学校名

成章中学校

氏名 ※氏名を出さない方は記入しないでください。

曲田 優心

より

# 命の大切さ学習教室に参加して

大崎礼子さん(涼香ちゃんのお母さん)に宛てた手紙です。

平成12年11月28日、当時小学1年生の涼香ちゃんは、登校中の児童の列に飲酒運転の軽トラックが突っ込む事故により、亡くなりました。



私はこの教室に参加する前はニュースでは「事故」と聞いても、被害者だけを考えてしまい、のこされた遺族を考えたことはありませんでした。しかし、この教室に参加して、のこされた遺族も「被害者」と知りました。自分や家族、友人が相手のせいで「いとも簡単に、命がうばわれてしまうのか」と考えるとその苦しさは想像しがたいものです。それでもその辛さを周りに広めることで、一人でも自分のような人を増やさないために活動する礼子さんはとてもすごい方だと感じました。

「事故」というのは、自動車だけでなく、自転車、電車、新幹線、最近では電動キックボードによる事故も増えています。便利な乗り物は便利な反面、「死」の可能性が常につきものです。それを理解し、心にこめておいて、家族と、もっといる時間を増やしたり、友人も今よりもっと大切にしたいと思いました。

学校名

成章中学校

氏名 ※氏名を出さない方は記入しないでください。

より

# 命の大切さ学習教室に参加して

大崎礼子さん(涼香ちゃんのお母さん)に宛てた手紙です。

平成12年11月28日、当時小学1年生の涼香ちゃんは、登校中の児童の列に飲酒運転の軽トラックが突っ込む事故により、亡くなりました。



私は大崎さんのお話を聞いて、自分の大切な人や友達と会える日々のありがたみを知ることができました。いつも当たり前のように学校へ行き、授業をうけて、部活をして帰る。この当たり前ができることへの感謝を忘れずにこれからも生活していきたいと思いました。残された家族には悲しみと苦しみが一生涯残り、被害者には恐怖心が、加害者には罪悪感が残ると分かりました。なのでこれから、このような経験をしないように、そして被害者にも加害者にもならないように、よりいっそう相手の気持ちや立場を理解し、日頃より注意を払うようにしていきたいです。他人事のように思わず、普段からもっと危機感をもつて生活したいです。

そしてこれからは、もっと家族や友達を大切にしようと思いました。将来は、お酒を飲んで車や自転車を運転しないように気をつけたいです。ひとりの命は唯一無二であり、失うと二度と戻らないので、大切にしたいと強く思いました。大崎さんがつらかった過去を思い出してまで、私たちにお話をしてくれたのは、娘さんやご家族などのようにつらくて苦しい思いをする人がこの世界から一人でも減ってくれればいいという思いが込められているのだと知りました。このことを胸に、そしてしっかり理解して生きていかなければならないと感じました。

学校名

大館市立成章中学校

氏名 ※氏名を出さない方は記入しないでください。

田村 舞

より